

平成 27 年度

事業報告書 決算報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

一般社団法人日本オーディオ協会

本協会は定款に従い、「可聴音・高忠実度録音及び再生の飽くなき追求」と、それを通して再生音楽文化、即ちオーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造するために、音及び音楽を中心とした感性価値向上の立場から、オーディオシステム及びオーディオビジュアルシステムに関するソフト、ハード、並びに視聴環境の調査及び研究、啓発、普及、更に基準の作成、人材の育成、情報の収集提供、展示会の開催などを内外関係機関等との交流・協力のもと推進することにより、オーディオ等文化の向上と関係分野の発展を図り、普及・啓発活動を推進致しました。主たる事業は定款に沿い次の通りであります。

(定款第 4 条第 1 号) オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究
ネットワークオーディオ委員会開催／良い音委員会開催

(定款第 4 条第 2 号) オーディオ等に関する普及及び啓発
「ハイレゾ・オーディオ／サウンド」普及取組み（ステアリングコミッティ、ハイレゾ定義 WG、ハイレゾ推進会議、カーオーディオ専門委員会、ネットワークオーディオ委員会）／
「音の日」記念行事実施／音のサロン委員会開催／オーディオ・ホームシアター展主催開催

(定款第 4 条第 3 号) オーディオ等に関する基準の作成
ハイレゾ基準音源の作成（録音会開催）、ハイレゾ定義 WG 開催

(定款第 4 条第 4 号) オーディオ等に関する情報の収集・分析及び提供
JAS ジャーナル誌発行とホームページでの情報提供／ホームページの閲覧最適化実施／国内オーディオ業界出荷統計集計と情報提供／オーディオ・ホームシアター展来場者分析

(定款第 4 条第 5 号) オーディオ等に関する展示会及び啓発に関する催事の開催
オーディオ・ホームシアター展の主催開催／録音会主催開催

(定款第 4 条第 6 号) オーディオ等に関する人材の育成
ルームチューニングインストラクター（RTI）講座の実施

(定款第 4 条第 7 号) オーディオ等に関する内外関係機関との交流及び協力
日本プロ音楽録音賞の共催／他団体開催行事への後援・協賛参加

(定款第 4 条第 8 号) オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売
オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け CD、DVD-Video 等販売

事業概要

ネットワークオーディオ委員会（鈴木信司委員長ほか 16 名）

- ▶ 委員会開催経緯（12 回開催）：4 月 22 日、5 月 22 日、6 月 9 日、6 月 24 日、7 月 29 日、8 月 24 日、10 月 13 日、11 月 11 日、12 月 22 日、1 月 26 日、2 月 26 日、3 月 15 日
- ▶ 活動内容：

- ◇ オーディオ・ホームシアター展で「ネットワークオーディオ」コーナーを運営しユーザー啓発を行う：ハード機器メーカー出展社数：13 社、機器展示／配信事業者数：16 社
- ◇ オーディオ・ホームシアター展でハイレゾ比較試聴セミナー。ユーザー啓発を行う
- ◇ ハイレゾ比較試聴用音源を、良い音委員会とタイアップ収録した
- ◇ ハイレゾ用語集編纂準備を進めた（平成 28 年度 web 公開予定）

良い音委員会（中川圭史委員長ほか 12 名）

- 委員会開催経緯(8 回開催)：9 月 29 日、10 月 27 日、11 月 27 日、12 月 24 日、1 月 27 日、2 月 24 日、3 月 25 日、4 月 25 日
- 活動内容：
 - ◇ 委員会を開催し、ハイレゾ時代の良い音についての意見交換を行う
 - ◇ ハイレゾ再生による、可聴帯域への影響について参考実験を行った。ハイレゾ再生によって生じる混変調歪の可聴帯域への影響等について、意見交換を行う
 - ◇ H.F.Olson 著「音響工学」を基本としてハイレゾ対応の高忠実度再生についてまとめた

「ハイレゾ・オーディオ／サウンド」普及への取組み

- ステアリングコミッティ（理事 7 名）
 - ◇ 会議開催経緯（4 回開催）：4 月 24 日、7 月 3 日、8 月 3 日、9 月 9 日
 - ◇ ハイレゾに関する決定機関として 7 月よりそれまでの理事会から独立開催
- ハイレゾ定義 WG（委員 14 名）
 - ◇ 会議開催経緯(2 回開催)：10 月 13 日、11 月 11 日
 - ◇ ネットワークオーディオ委員会傘下に組織したハイレゾ対応製品の定義等検討
- ハイレゾ幹事会/ハイレゾ推進会議
 - ◇ 会議開催経緯(4 回開催)：1 月 19 日、2 月 5 日、2 月 26 日、3 月 15 日
 - ◇ ステアリングコミッティ、ハイレゾ定義 WG に代わりハイレゾロゴ付与のルール策定
 - ◇ JEITA AV 事業委員会及びネットワークオーディオ専門委員会主催のハイレゾオーディオセミナーにおいて講演を行いハイレゾの啓発に努めた
- カーオーディオ専門委員会（佐藤伸一委員長ほか 16 名）
 - ◇ 委員会開催経緯（9 回開催）：6 月 23 日、7 月 13 日、8 月 6 日、9 月 10 日、10 月 20 日、12 月 14 日、1 月 25 日、2 月 23 日、3 月 29 日
 - ◇ 活動内容
 - ・「ハイレゾ・カーオーディオ」の基本定義（案）取りまとめ
 - ・国内主要自動車メーカーとの協議・連絡・調整
- ハイレゾ・オーディオ/サウンドロゴ使用申請法人の承認およびロゴの付与（年度末累計）
 - オーディオ協会会員：48 社、CTA 会員：16 社、コンテンツ企業：10 社、合計 74 社
 - 登録製品：24 カテゴリー、656 製品

「音の日」記念行事実施（「音の日」実行委員会 森 芳久委員長 ほか 11 名）

- 委員会開催経緯（5 回開催）：6 月 23 日、7 月 3 日、8 月 6 日、9 月 4 日、10 月 23 日
- 活動内容：

- ◇ 第 20 回 「音の匠」の選出、及び「音の日」イベントの企画運営を行う
 - ・ イベント：12 月 4 日（金）目黒雅叙園 ペガサスの間 参加 80 名
 - ・ 「音の匠」として顕彰：奈良県立医科大学 名誉教授の大崎 茂芳氏。クモの糸の物理化学的研究に長年取り組み、実現化に向けてクモの糸の機能性を明らかにするために、クモの糸でヴァイオリン用の弦を作成する
 - ・ 「音の日」イベント「学生の制作する音楽録音作品コンテスト」受賞作品発表と表彰 AES 日本学生支部と共催。趣旨は①若人へ「音に対する造詣を深める」機会提供 ②若人を通じたオーディオ活性化の二点。全 16 作品の応募。受賞作品は下記：
 - 最優秀賞：（東京藝大）蓮尾 美沙希氏／企画制作賞：（洗足学園音大）高柳 欽也氏
 - 録音技術賞：（尚美学園大）廣木 翼氏／音楽作品賞：（日本工学院）世利 輝氏
- ◇ 「音の日のつどい」パーティ：
 - ・ 12 月 4 日（金）目黒雅叙園 花苑の間 参加 200 名
 - ・ 音の匠と日本プロ音楽録音賞受賞者を祝し交流パーティ実施。日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構 MPN の共催

音のサロン委員会（小嶋 康委員長 ほか 10 名）

- 委員会開催経緯（10 回開催）：4 月 17 日、5 月 29 日、6 月 26 日、7 月 27 日、8 月 21 日、10 月 5 日、10 月 30 日、12 月 15 日、1 月 14 日、2 月 18 日
- 活動内容
 - ◇ 「山野楽器(銀座本店)音のサロン」試聴会(1 回開催) 日本レコード協会との共催
1 月 7 日「音のサロン in 山野楽器ーようこそ、昭和歌謡の世界へ」
 - ◇ 「オーディオ・ホームシアター展 2015ー音のサロン」を協会主催として試聴会を実施
 - ◇ 「ハイレゾ音源の楽しみ方講座Ⅱ」（3 回開催）
 - ・ PC オーディオ、ハイレゾ音源の普及啓発の為に技術面、使用面の課題解説とデモ
 - ・ 5 月 30 日、8 月 22 日、10 月 12 日（真空管オーディオフェアへ協賛出展）

オーディオ・ホームシアター展 2015 開催

- 10 月 16～18 日の 3 日間、東京都江東区（お台場）「TIME 24」
- 出展社及び来場者：91 社/団体、協賛・協力社数：24 社/団体 : 19,300 人来場
- 展示会実行委員会（中川克也委員長／小川功一委員長 ほか 12 名）
 - ◇ 実行委員会開催経緯（6 回開催）：平成 27 年 3 月 5 日、4 月 6 日、5 月 14 日、7 月 13 日、9 月 16 日、12 月 16 日
 - ◇ 出展社募集説明会 : 4 月 8 日 37 社 48 名出席
 - ◇ 展示装飾説明会 : 7 月 23 日 33 社 41 名出席
 - ◇ 記者発表会 : 7 月 23 日 17 社 20 名出席
 - ◇ ホームページ運用開始 : 4 月 27 日
- 協会主催イベントとして北米フィメール・ボーカリストとビッグバンドによる「ハイレゾ発表 1 周年記念コンサート」、更に「専門誌セミナー」「ハイレゾ最新事情セミナー」「ホームシアター体験セミナー」、10 のプログラムによる「音のサロン」、3 つのテーマによる「工作教室」に加え「NHK 特別セミナー&S・HV デモンストレーション」を開催

- ▶ 協会主催展示ブースとして JEITA ネットワークオーディオ専門委員会の協賛を得てテーマ『Welcome to the High-Res World』とし「ハイレゾの定義」「ハイレゾ商品の展示」「ハイレゾ機器のユースケース紹介」などハイレゾ・オーディオ／サウンド詳細解説を展開
- ▶ 初日「懇親会」を開催。関係省庁、企業、団体等約 100 名参加
- ▶ オーディオ・ホームシアター展来場者分析顧客動向データを集計分析
 - ◇ 調査対象者及び人数
 - ・ 事前登録者 : 有効データ 2,414 人
 - ・ 出口アンケート調査 : 有効データ 802 人
 - ◇ 主たる調査項目
 - ・ 来場者プロフィール
 - : エリア別来場者構成比
 - : 性別・年齢別来場者構成比
 - : 来場回数推移・構成比
 - : 展示会認知媒体動向
 - : 試聴音楽ジャンル志向
 - : 音楽試聴スタイル動向
 - : オーディオ想起カテゴリー
 - ・ 展示会満足度、親和度
 - : 総合満足度
 - : 出展社想起度
 - : 商品カテゴリー想起度（興味アイテム）
 - : ハイレゾ認知度、利用意向
 - : イベント関心度
 - ◇ 調査結果より
 - ・ 若年層開発に至っていない（20 歳代～30 歳代の開発停滞）
 - ・ 女性層拡大に至っていない（女性構成比は 10%未満）
 - ・ 年代別来場者が 1 世代上がった（最多年齢層 45 歳後半⇒50 歳前半へ）

録音会開催＜ハイレゾ基準音源の作成及び一般向け録音会の主催開催＞

- ▶ 生録ファン 25 名参加による録音会
- ▶ 良い音委員会音源制作。DSD、PCM 44.1/16 192/24 等のフォーマットを同一条件で収録
- ▶ 2015 年 7 月 12 日（日）「松本記念音楽迎賓館」ホール
- ▶ チェロ：堀 沙也香、ピアノ：山崎 早登美

会誌「JAS ジャーナル」の発行とホームページによる情報提供

- ▶ JAS ジャーナル編集委員（君塚 雅憲 委員長ほか 10 名）会開催経緯（6 回開催）：5 月 12 日、7 月 24 日、9 月 18 日、11 月 16 日、1 月 22 日、3 月 18 日
- ▶ JAS ジャーナルの主なテーマと記事数：
 - ◇ 5 月号 5 月 29 日発行：特集 ハイレゾ機器解説 第 1 回ほか合計 8 件（全 51 頁）
 - ◇ 7 月号 7 月 29 日発行：特集 ミュンヘン・ハイエンドショーほか 11 件（全 70 頁）
 - ◇ 9 月号 9 月 30 日発行：特別寄稿 About MQA (for JAS) ほか 11 件（全 65 頁）
 - ◇ 11 月号 11 月 30 日発行：特集 オーディオ・ホームシアター展ほか 13 件（全 82 頁）
 - ◇ 1 月号 1 月 29 日発行：特集 2015 年「音の日」ほか 14 件（全 96 頁）

◇ 3月号 3月 31日発行：欧州のトーンマイスター教育についてほか 10件（全 61頁）

ホームページの閲覧最適化と情報提供

- ▶ ホームページ改善 WG（事務局長及び協力会社）による web デザイン全面改訂
- ▶ 目的はサーチエンジン対策の向上と訪問者（閲覧者）へのサービス向上
- ▶ 協会が運用する 5つの HP「協会ホーム」「ホームシアターサウンド」「ネットワークオーディオ」「オーディオ・ホームシアター展」「デジタルホームシアター教室」一斉着手
- ▶ 改定運用開始：10月初旬音展開催前
- ▶ ショールームや店頭で各社が実施する試聴会情報紹介（370件）
- ▶ ハイレゾ、CD、スーパーオーディオ CD 等市販ソフトを試聴し高音質作品紹介（63作品）

国内オーディオ業界出荷統計集計と情報提供

- ▶ JEITA 出荷統計及び協会法人会員からの出荷情報を集計し、平成 26 年暦年のオーディオ業界出荷統計として法人会員向けに情報提供を行った

デジタルホームシアター普及委員会＜6月 25日～A・V環境改善・講座委員会＞（鈴木弘明委員長ほか 10名）

- ▶ 委員会開催経緯（5回開催）：4月 23日、6月 25日、7月 30日、10月 1日、3月 31日
- ▶ 主要活動内容
 - ◇ RTI(ルームチューニングインストラクター)養成講座を10月 28・29日に企画したが、応募者が少なく開講に至らなかった。
 - ◇ 平成 28 年度はマーケティング会議（AV マーケティング研究会兼務）へ活動を移行

アナログディスクの領布

- ▶ 日本コロムビア株式会社と共同で「往年の名盤」3タイトルの「幻の金属原盤」発掘とテストプレスに成功し限定復刻盤の発売を告知したが、注文数が少なく中止した

日本プロ音楽録音賞の共催

- ▶ 第 22 回日本プロ音楽録音賞を日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、日本レコード協会、演奏家権利処理合同機構 MPN 共催にて実施した。応募 100 作品から審査で選ばれた受賞者を 12 月 4 日に開催した「音の日」記念イベント（目黒雅叙園）にて表彰した

▶ 受賞作品

☆ CD 部門「クラシック、ジャズ、フュージョン」 応募総数 22 作品

・ 最優秀賞

「BIG BAND SCALE~甦^{よみがえる}るビッグバンドサウンド~」より
 「地下室のメロディー」 角田健一ビッグバンド
 株式会社ワーナーミュージック・ジャパン (WQCQ-633) CD
 メイン・ミキシング・エンジニア：内沼 映二／株式会社ミキサーズラボ
 マスタリング・エンジニア：菊地 功／株式会社ミキサーズラボ
 セカンド・エンジニア：高西 和明／株式会社ミキサーズラボ

セカンド・エンジニア：山口 ^{やまぐち} 雄^{ゆう}／株式会社ミキサーズラボ

- ・ 優秀賞

「ピアノ協奏曲第 9 番 変ホ長調 K.271 《ジュノム》 から第 1 楽章」
ヴァレリー・アフアナシエフ (pf) 円光寺雅彦 指揮 読売日本交響楽団 CD
マスタリング・エンジニア：毛利 ^{もうり} 篤^{あつし}／日本コロムビア株式会社

- ・ 優秀賞

「I'm A Fool To Want You featuring エンディア・ダヴェンポート、溝口肇」
TOKU CD
ミキシング&マスタリング・エンジニア：鈴木 浩二／株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

☆ CD 部門「ポップス、歌謡曲」 応募総数 22 作品

- ・ 最優秀賞

「こううたう」より「桜坂」 柴咲 コウ
株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント (VICL-64295)CD
ミキシング・エンジニア：高桑 ^{たかくわ} 秋朝^{あきとも}／株式会社 JVC ケンウッド・ビクター エンタテインメント ビクタースタジオ
マスタリング・エンジニア：川崎 ^{かわさき} 洋^{ひろし}／FLAIR MASTERING WORKS

- ・ 優秀賞

「Time After Time」 SHANTI CD
ミキシング・エンジニア：谷田 ^{たにだ} 茂^{しげる}／株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント ビクタースタジオ

- ・ 優秀賞

「LIFE」 BLUE ENCOUNT CD
ミキシング・エンジニア：高山 ^{たかやま} 浩也^{ひろや}／株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

☆ ハイレゾリューション部門「2ch ステレオ」 応募総数 25 作品

- ・ 最優秀賞

「平和への祈り～バッハ：無伴奏ヴァイオリン全曲」より
「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第 2 番ニ短調 BWV1004
第 5 楽章「Chaconne」千住 真理子 (Vn)
発売元：ユニバーサルミュージック合同会社
配信元：e-onkyo music フォーマット：96kHz/24bit
ミキシング・エンジニア&マスタリング・エンジニア：高島 靖久／株式会社カメラータ・トウキョウ

- ・ 優秀賞

「美しい知らせ」ナポリ古謡 西山 まりえ フォーマット DSD11.2MHz/1bit
ミキシング・エンジニア：深田 晃／株式会社 dream window

- ・ 優秀賞

「What Are You Doing The Rest Of Your Life」 苦米地 ^{くまいち} 義久 フォーマット
96kHz/24bit
ミキシング・エンジニア：高田 英男／フリーランス

- ・ 審査員特別賞

「ウジャン・マス」 ヤマサリ フォーマット DSD11.2MHz/1bit
レコーディング&ミキシング・エンジニア：大橋 ^{つとむ} 方／公益財団法人国際科学
振興財団

☆ ハイレゾリューション部門「マルチ ch サラウンド」 応募総数 7 作品

・ 最優秀賞

「イタリア・オペラ管弦楽・合唱名曲集」より
「ヴェルディ：歌劇《運命の力》より序曲」
アンドレア・バッティストーニ指揮
カルロ・フェリーチェ歌劇場管弦楽団&合唱団
発売元：日本コロムビア株式会社 SACD 5.0ch
マスタリング・エンジニア：毛利 篤／日本コロムビア株式会社
ミキシング・エンジニア：塩澤 利安／日本コロムビア株式会社

・ 優秀賞

^{コントラプンクトゥス}
「Contrapunctus 01」 UNAMAS FUGUE QUINTET フォーマット
192kHz/24bit 5.0ch
ミキシング&マスタリング・エンジニア：^{さわぐち} 沢口 ^{まさき} 真生／沢口音楽工房

☆ 放送部門「2ch ステレオ」 応募総数 17 作品

・ 最優秀賞

^{デイジー}
「Daisy」 歌：澤田 かおり
指揮：服部 隆之 演奏：澤田かおり&ならび♪オーケストラ
株式会社毎日放送 HDTV stereo 2015年2月2日放送
ミキシング・エンジニア：田中 聖二／株式会社毎日放送

・ 優秀賞

「サン=サーンス作曲 バイオリン協奏曲第3番短調作品 61 より第3楽章」
ティエリー・フィッシャー：指揮 ^{みうら} 三浦 ^{ふみあき} 文彰：Vn
名古屋フィルハーモニー交響楽団
日本放送協会 FM stereo 2015年8月30日放送
ミキシング・エンジニア：^{やがみ} 矢神 ^{あきと} 彰人／日本放送協会名古屋放送局

☆ 放送部門「マルチ ch サラウンド」 応募総数 7 作品

・ 最優秀賞

「ベルリオーズ：幻想交響曲 第4楽章 断頭台への行進」
小澤 征爾 指揮 サイトウ・キネン・オーケストラ
長野朝日放送(株) HDTV 5.0ch 2014年12月23日
ミキシング・エンジニア：岩井 和久／長野朝日放送株式会社

・ 優秀賞

「第1幕 第8曲 フィナーレ：「早く行きましょう、勇気を出しましょう」～
「ザラストロ、万歳!」
デニス・ラッセル・デーヴィス：指揮、宮本亜門：演出
^{つまやひでかず} 妻屋秀和、^{すずきじゅん} 鈴木准、^{もりやまり} 森谷真理、他 読売日本交響楽団
日本放送協会 HDTV 5.1ch 2015年8月31日放送
ミキシング・エンジニア：^{やまがた} 山縣 ^{じゅんいち} 淳一／株式会社 NHK メディアテクノロジー

☆ ベストパフォーマンス賞

「華麗なる舞曲」 精華女子高等学校吹奏楽部 CD

CD 部門「ポップス、歌謡曲」より選定

☆ 新人賞

「s-AVE」 SawanoHiroyuki[nZk] CD

ミキシング・エンジニア：相澤 光紀／合同会社 SIGN SOUND

後援・協賛名義の使用承認

- CEATEC JAPAN 2015
- 第 21 回真空管オーディオフェア
- Inter BEE 2015
- オーディオフェスタ・イン・ナゴヤ 2015

オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD-Video 等の販売を行った。

- 平成 27 年度販売数合計：189 枚
 - ◇ 内訳：CD-1 Audio Test 94 枚、DVD-V1 Audio Check (DVD) 24 枚、MLAS-1001~2 1 枚 COCQ-84695 2 枚、COGQ-28(SACD) 2 枚、AES 001~003 14 組、UNACD-07-01 1 枚、AD-1 オーディオチェックレコード 51 枚
- ハイレゾ音源の販売：
 - ◇ 平成 25 年 12 月 1 日収録の「チェンバロ演奏会」音源を今年度も配信販売を行った。
 - ◇ 販売数（ダウンロード数）：199
 - ◇ 平成 27 年 7 月 12 日に収録した「チェロ演奏会」の音源の配信販売を行った。
 - ◇ 販売数（ダウンロード数）：1,089

総務事項

通常総会

- 日時：平成 27 年 6 月 4 日（木）場所：東京中央区 銀座ブロッサム中央会館
- 出席者数：正会員 239 名（委任状出席者を含む）
- 議事：
 - ◇ 第 1 号議案：平成 26 年度事業報告・決算報告ならびに監事監査の承認を求める件
 - ◇ 第 2 号議案：平成 27 年度事業計画・収支予算について
 - ◇ 第 3 号議案：役員交代の承認を求める件

理事会及び運営会議

- 第 1 回 日時：平成 27 年 5 月 20 日（水） 15:00~17:30
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 11 名、監事 1 名
- 第 2 回 日時：平成 27 年 6 月 4 日（木） 14:00~14:30
場所：中央区銀座 銀座ブロッサム 出席者数：理事本人 13 名、監事 2 名
- 第 3 回 日時：平成 27 年 9 月 9 日（水） 16:00~18:00
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 13 名、監事 2 名

- 第 4 回 日時：平成 27 年 12 月 4 日（金）13:00～14:00
場所：目黒 雅叙園「シグナス」の間 出席者数：理事本人 12 名、監事 1 名
- 第 5 回 日時：平成 28 年 2 月 3 日（水）16:20～18:20
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 16 名、監事 2 名
- 第 6 回 日時：平成 28 年 3 月 23 日（水）15:00～16:00
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 12 名、監事 2 名

平成 28 年度役員推薦委員会（役員改選に向け役員案を理事会に提案。齋藤重正委員長ほか 4 名）

- 平成 28 年 2 月 1 日（月）17:00～18:10 参加者：5 名
- 平成 28 年 3 月 4 日（金）14:00～15:45 参加者：3 名

監事監査

- 日時：平成 27 年 5 月 13 日（水）10:30～12:30
- 場所：日本オーディオ協会会議室

登記事項：平成 27 年 8 月 5 日 役員登記

平成 27 年度の会員数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

- 法人会員 正：55 社、8 団体、賛助：20 社 合計 75 社、8 団体
- 個人会員 一般：220 名、シニア：96 名、会友：45 名 合計 361 名

平成 27 年度の役員数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

- 理事 18 名（うち会長兼専務理事 1 名、副会長 4 名）、監事 2 名

平成 27 年度の職員数（平成 28 年 3 月 31 日現在）：6 名

表彰等

- 音の匠：奈良県立医科大学 名誉教授 大崎 茂芳氏
- 日本プロ音楽録音賞、最優秀賞 6 作品、優秀賞 9 作品、審査員特別賞 1 作品に携わったエンジニア、ベストパフォーマー賞 1 作品、新人賞 1 作品のアーティストをそれぞれ表彰

音の日のつどい

- 日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構 MPN との共同で実施
- ◇ 平成 27 年 12 月 4 日（金）目黒雅叙園 参加 200 名

以上

平成28年5月24日

平成27年度 収支計算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)
(平成28年3月)

収入の部

(単位:千円)

	平成27年度収入予算				平成27年度収入実績				差 額			
	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)
1. 会費(含入会金) (1)	46,012	46,012			51,572	51,572			+5,560	+5,560		
2. 事業収入	34,500	1,590	1,000	31,910	37,423	2,622	555	34,246	+2,923	+1,032	-445	+2,336
普及・啓発 (2)	900	900			1,910	1,910			+1,010	+1,010		
評価用音源	690	690			712	712			+22	+22		
人材の育成 (3)	1,000		1,000		555		555		-445	+0	-445	
展示会(音展)	31,910			31,910	34,246			34,246	+2,336	+0		+2,336
3. その他収入 (4)	1,000	1,000			1,244	1,244			+244	+244		
4 当期収入計(1～3)	81,512	48,602	1,000	31,910	90,239	55,438	555	34,246	+8,727	+6,836	-445	+2,336

- (注記) (1) 法人会員 正:55社、8団体、賛助20社、個人会員 一般:220名、シニア:96名、会友:45名 合計361名 (平成28年3月31日現在)
(2) 音の日会費、音の日行事分担金、Nレゾナ使用事務手数料収入
(3) デジタルホームシアターセミナー受講料・教本収入
(4) サラウンドHP協力金(JEITA)、生録音源配信収入他

支出の部

	平成27年度支出予算				平成27年度支出実績				差 額			
	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)
1. 事業支出	42,793	10,657	666	31,470	45,242	11,588	303	33,351	+2,449	+931	-363	+1,881
調査・研究												
普及・啓発 (1)	4,900	4,900			3,347	3,347			-1,553	-1,553		
基準の作成(音源) (2)	247	247			497	497			+250	+250		
情報の収集・提供 (3)	4,610	4,610			6,794	6,794			+2,184	+2,184		
展示会の開催(音展)(4)	31,470			31,470	33,351			33,351	+1,881	+0		+1,881
人材の育成 (5)	666		666		303		303		-363	+0	-363	
対外交流 (6)	900	900			950	950			+50	+50		
2. 管理費 (7)	1,905	1,905			2,944	2,944			+1,039	+1,039		
3. 事業管理費 (8)	36,056	36,056			40,305	40,305			+4,249	+4,249		
4 当期支出計(1～3)	80,754	48,618	666	31,470	88,491	54,837	303	33,351	+7,737	+6,219	-363	+1,881

収支バランス

5. 当期収支差額	+758	-16	+334	+440	+1,748	+601	+252	+895	+990	+617	-82	+455
6. 前期収支差額	+7,580	+28,932	-2,995	-18,357	+7,580	+28,932	-2,995	-18,357				
7. 次期繰越収支差額	+8,338	+28,916	-2,661	-17,917	+9,328	+29,533	-2,743	-17,462				

- (注記) (1) 音の日行事、音のサロン、DHT委員会、生録費用他活動費用
(2) オーディオシステム評価用ディスク制作、仕入代金等
(3) JASジャーナル、JASホームページ運用費・リニューアル費用、ホームシアターサウンドWeb運用費等
(4) 音展(オーディオ・ホームシアター展)
(5) デジタルホームシアターセミナー資格認定講座
(6) 他団体への協力金(日本プロ音楽録音賞運営委員会、デジタルコンテンツ協会、モバイルオーディオ推進協議会、インテリア産業協会)
(7) 協会一般事業の管理経費(含む総会)
(8) 一般会計事業に伴う固定的経費